

パーム油調達に関する自主的な取り組みについて

三恵観光株式会社は、環境や人権に配慮した
「持続可能なパーム油」の調達・活用を目指しています。

REPORT_01

2019.04.01

三恵観光のバイオマス発電事業

私たちは現在、本社のある地元福知山市内にコンパクトなバイオマス発電所を置き、**パーム油を燃料とする発電事業**を行っています。

2017年6月末に稼働開始以来、**インドネシアやマレーシアをはじめとする東南アジアからパーム油を調達**しています。



三恵福知山バイオマス発電所

● 京都府福知山市にて2017年6月30日より稼働中

「持続可能なパーム油」の普及推進に賛同

自然環境や原産国の人権に配慮した「**持続可能なパーム油**」を求める声の高まりに応え、WWFを含む関係団体を中心にした非営利組織「**RSPO**(持続可能なパーム油のための円卓会議)」がスタートし、世界的な基準となる認証制度の確立・普及に取り組んでいます。

私たちもこうした世界の潮流に賛同し、自主的な取り組みを開始。まずは、バイオマス発電事業に関するコンサルティングを委託している企業と連動しながら、独自のロードマップを定め、「**持続可能なパーム油**」を活用するべく準備に着手しています。

この取り組みのゴールとして「**2021年春までにRSPO認証、もしくはそれに準ずる内容を備えた認証を取得したサプライヤーと契約を完成させ、自社プラントで使用する燃料をすべて認証オイルに切り替える**」ことを掲げています。

また今後は、取り組みの進捗や経過、展望に関して、弊社コーポレートサイト等で随時発信していく予定です。

※ 現在東南アジアでは、パーム油の主要原産国が主導する認証制度の準備も進められています。主なものとして、**RSPO**に準ずるレベルとされるマレーシアの国家認証制度**MSPO**があり、2019年末までに国内の全農園のMSPO認証取得を目指しています。

RSPOが定める「8つの原則」

- 1 透明性へのコミットメント
- 2 適用法令と規則の遵守
- 3 長期的な経済・財政面における実行可能性へのコミットメント
- 4 生産及び搾油・加工時におけるベストプラクティス（最善の手法）の採用
- 5 環境に対する責任と資源及び生物多様性の保全
- 6 農園、工場の従業員及び、影響を受ける地域住民への責任ある配慮
- 7 新規プランテーションにおける責任ある開発
- 8 主要活動分野における
- 9 継続的改善へのコミットメント